

地域との触れあい

子ども主体で企画した「夕涼み会」

1. 目的と経緯

- 当園の保護者や園児だけではなく、地域の方々の参加を促し、コロナ禍で途絶えていた人と人との交流を深める。
- 職員がプログラム内容を決めるのではなく、子どもたちが主体となって、子どもたちの話し合いの中で企画をすることで、主体的で対話的な深い学びを体験的に実現していく。



2. 内容

- 地域の小学校や市の施設にチラシを配布し、小中学生の子育て世帯の参加を促す。
- 子どもたちが自分たちでデザインし、製作したおみこしを担ぎ、浄泉寺境内を練り歩いた。その後、子どもたちが選んだ楽曲による全員参加の盆踊りを通して人々との交流を深めた。
- 子どもたちが企画、準備をした、お菓子のすくい取り、キックボウリングのゲームブース、手作りのガチャガチャくじ、かき氷やおにぎりの軽食などのブースを出店し、最後に花火をして、企画者、参加者が共に楽しめるイベントとなった。

3. 成果と課題

- 子どもたちが企画から実施までを主体的に取り組むことで「やりたい」を実現する自信になった。
- 参加者が予想よりも多く来場したため、各ブースで長蛇の列が出来てしまった。
- 食べ物が少なかったため、来年以降は地域のお店などに声をかけ、連携を強化したい。

